

富士通コミュニケーションサービス 北九州黒崎にサポートセンター
プロバイダサポートを主に 来秋までに 350 人体制

【北九州】サポートサービス専門の富士通コミュニケーションサービス（CSL、東京都品川区、南昌宏社長）は 28 日、北九州市役所で会見し、10 月に「北九州黒崎サポートセンター（SC）」を開設すると発表した。10 月末までに 200 人を新規に確保し、将来的には 350 人体制にする。2000 年から稼働している北九州 SC と連携し、高まるコンタクトセンター業務のアウトソーシングニーズに対応する。

北九州黒崎 SC を開設するのは、JR 黒崎駅に隣接する商業ビル、クロサキメイト（北九州市八幡西区黒崎 1-1-1）内の 6,7 階。2 フロアで約 2 千平方メートルを確保し、主に大手通信プロバイダのサポート業務を行う。

国内 8 カ所目の北九州黒崎 SC は、同社国内最大の 950 人規模を擁する北九州 SC のサテライトという位置付け。

記者会見で、南社長は「北九州はもともと人材が豊富で、優秀な若者が多い」と北九州地区拡充の狙いを語る。10 年 9 月末に見込む 350 人体制も前倒しで達成できる見通しだという。

今回の新 SC 開設に合わせ、8 月 10 日に同じく JR 黒崎駅隣接のコムシティで社員募集会社説明会を開催する。定員は 100 人。

製造業を中心に厳しい経営環境が続くが、アウトソーシング業界は好調。同社の 09 年度業績も、前年比 10%増の 182 億円を見込む。毎年のように SC を開設拡充している同社は、09 年度は、今回の北九州黒崎 SC を新設。10 年度も、新たな SC の開設を検討している。

北橋健治北九州市長は「副都心・黒崎の活性化は北九州市の重要な課題。今回の新設で、新規雇用が生まれ、町に活気が生まれる。可能な限り協力していく」と語った。

クロサキメイトを運営するメイト黒崎の縄田幸治社長は「通勤、買い物、食事に利便性の高い場所なので、高い従業員満足度を得られるだろう。黒崎全体への相乗効果に期待している」と述べた。

電波新聞社の了承をいただいて記事を全文掲載しております。